

# イヌワシの保全に関する研究

自然・環境マネジメント研究部 生態研究グループ

布野 隆之

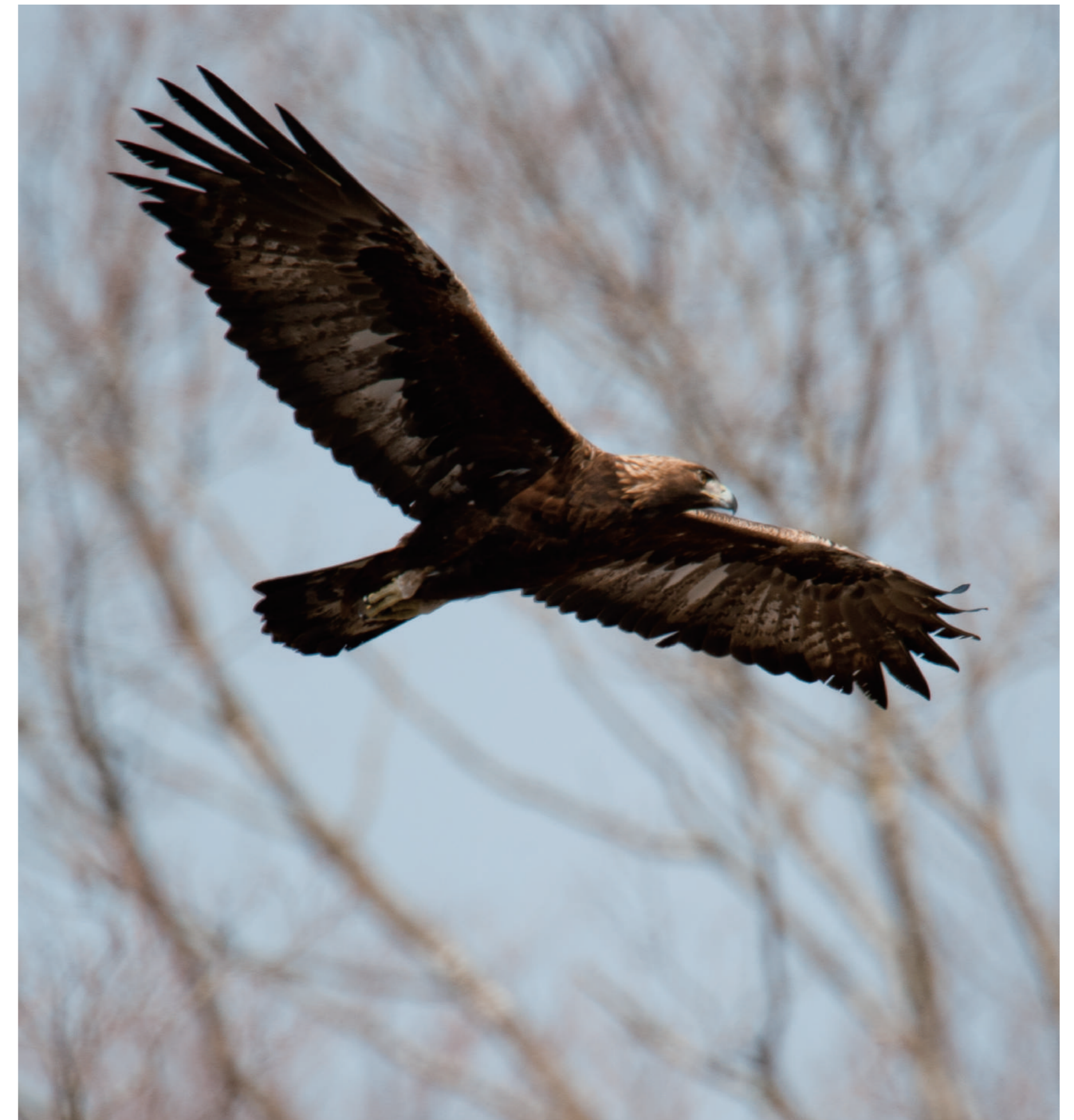


イヌワシは北半球に広く分布する大型のワシです。草原や荒野に生息し、ノウサギなどを捕食しています。しかし、森林国である日本では、密集した樹木が邪魔になり、イヌワシはノウサギを捕獲することができません。このため日本のイヌワシは、雪崩や台風によって形成された「樹木の倒壊地」（以下、林冠ギャップとする。）を使い、そこに集まるヘビ類を捕獲しています。

日本でイヌワシを保全するには、林冠ギャップとヘビ類の両方を管理することが大切です。



台風によって形成された林冠ギャップ（左）と、そこに集まったヘビ類（右）



森林帯を飛翔するイヌワシ